

オムニクロマには、シェードがありません。
オムニクロマ自体が、充填する窩洞の色調に同化します。

オムニクロマの硬化前のペーストは白色不透明で、
歯質との識別が容易です。

オムニクロマ (厚さ 1mm)



光硬化後に、窩洞の色調に同化した
自然な外観になります。



■人工歯窩洞に充填したオムニクロマ (光硬化前後)

光硬化前



光硬化後



著しい変色歯にオムニクロマを充填した場合、
光硬化後に明度が高く／彩度が低くなりやすい
傾向があります。



周囲に歯質の無い大きなⅢ、Ⅳ級直接修復や、変色歯質・
金属色の遮蔽をしたい場合は、オムニクロマを充填する
前にブロッカーや色調遮蔽用の材料を充填してください。

ブロッカーの使用法は裏面を参照してください。

—omniCHROMA— **BLOCKER**

オムニクロマブロッカーは背景色を遮蔽します。ブロッカーや色調遮蔽用の材料を併用すると、より多くの症例に対応することができます。

オムニクロマ 硬化体
(厚さ 1mm)



+

ブロッカー 硬化体
(厚さ 1mm)



→

オムニクロマ+ブロッカー
積層硬化体



横から見た図



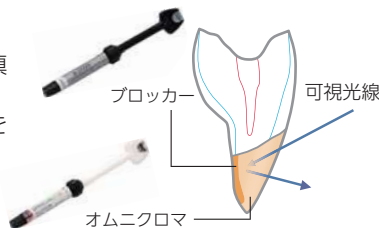
色調はオペーク
シェードの A2 相当

オムニクロマをブロッカーに積層すると、
ブロッカーの色調に同化します。

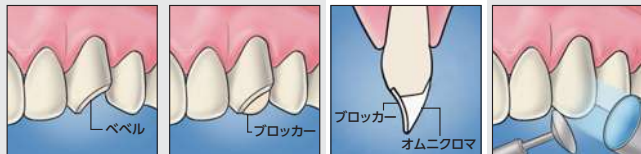
大きなⅢ、Ⅳ級の直接修復

周囲に歯質の無い大きなⅢ、Ⅳ級直接修復では、ブロッカーの充填後にオムニクロマを充填します。これにより、唇側から舌側に光線が抜け、充填部位が暗くなるのを防ぎます。

※審美性とリテンションを向上させるため、前歯部の窩洞形成においては、エナメルマージンにベベルを付与してください。



ブロッカーの厚みは症例により異なります。目安は 0.5mm です。



明度が高い／不透明な症例にはブロッカーを厚くし、明度が低い／透明な症例にはブロッカーを薄くすることで調整できます。

変色歯質／金属の遮蔽

変色歯質の色を遮蔽したい場合は、ブロッカーもしくは色調遮蔽用の材料で色調を遮蔽したのちに、オムニクロマで修復します。オムニクロマはブロッカーもしくは色調遮蔽用の材料の色調に同化します。

金属の色を遮蔽したい場合も同様です。

